

宝樹文彦関係文書目録

2021年4月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています

国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料室の所蔵資料」

(<http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/>)

凡例

- 推定した箇所は〔 〕で囲って示した。
- 資料（1～65番）は、ほぼ年月日順に配列している。

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1	一九五九年における労働組合の戦線統一問題に関する資料―全労提唱の統一問題の展開と挫折―〈調査研究資料No.2〉	白井泰四郎・土穴文人、日本労働協会調査研究部		昭和34年	数量 1冊 付属資料 メモ、1枚 記述法 印刷 備考 手書きの表、赤線各所にあり、裏表紙に英字署名
2	〔記事切抜（「全逋闘争両者の言い分」『毎日新聞』昭和38年12月10日）〕			昭和38年12月10日	数量 1点 記述法 印刷
3	〔五味康祐書簡 宝樹文彦宛〕	五味康祐	宝樹文彦	昭和38年5月10日	数量 1通 内容 『小説中央公論』誌の記事に関する詫び状 記述法 ペン
4	〔記事コピー（全逋新聞、総評、社会新報）〕	全逋信労働組合		昭和39年4月	数量 1綴 内容 「労働者を裏切った共産党―四・一七で表面化した日共の大混乱―」（『全逋新聞』昭和39年4月15日号外）、「四・一七統一ストについての声明」、岩井事務局長談話「日本共産党の敗北主義を排除せよ」（『総評』昭和39年4月13日号外）、「弾圧と妨害を排して春闘を成功させよう―日共の誤った方針を批判する―」（『社会新報』昭和39年4月20日） 記述法 印刷
5	〔記事コピー（『アカハタ』昭和39年4月10日号外）〕			昭和39年	数量 2枚 内容 日本共産党「全民主勢力と団結し、挑発を排してがん強にねばりつよくたたかいぬこう―春闘をたたかう全労働者に訴える―」 記述法 電子式複写（印刷） 備考 赤線あり
6	全労働者の団結で組合による組合員の首切りを粉碎し、職場を基礎に愛国と統一の労働組合をきずこう	全逋通本社支部・全逋通東京市外電話支部		昭和39年	数量 2枚 記述法 電子式複写（印刷） 備考 宝樹氏への言及あり
7	国鉄労働組合闘争指令第10号	鈴木清（国鉄労働組合中央闘争委員長）		昭和39年	数量 2枚 記述法 電子式複写（印刷） 備考 赤線あり

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
8	アカハタ 昭和39 年4月27日 号外			昭和39年4月2 7日	数量 1点 内容 「分裂主義者に屈服することはできな い 労働者は愛国と統一の旗をかかげて英雄 的に前進しよう」 記述法 電子式複写（印刷） 備考 赤線あり
9	日本労働運動の基 本戦略	岩井章、労働 旬報社		昭和39年	数量 1冊 記述法 印刷 備考 宝樹氏への直接言及なし、書込み多数
10	〔全通労組第18 回定期大会記事、 宝樹文彦氏談話〕			昭和41年7月2 日	数量 1点 記述法 印刷
11	〔抜刷（宝樹文彦 「労働戦線統一と 社会党政権樹立の ために」『月刊 労働問題』1967 年2月号pp11-2 2）			昭和42年2月6 日	数量 1冊 記述法 印刷 備考 裏表紙に多数の書き込み
12	月刊 労働問題 19 67年4月号	日本評論社		昭和42年4月1 日	数量 2冊 内容 シンポジウム「労働戦線統一の可能 性」堀井利勝・宝樹文彦・中地熊造・滝田 実・佐藤芳夫・矢加部勝美、pp10-27 記述法 印刷
13	月曜会レポート 労働戦線の統一に ついて	宝樹文彦、国 民政治研究会		昭和42年5月8 日	数量 1点 記述法 印刷
14	全通速報 第195 号			昭和44年4月1 6日	数量 1点 記述法 印刷 備考 書込みあり
15	結社の自由と団結 権・団体交渉権擁 護に関する決議	アジア公務員 労働組合会議		昭和44年10月 9日	数量 1枚 記述法 電子式複写（印刷）
16	ILO公務員合同委 員会に対するアピ ール			昭和44年	数量 2枚 記述法 電子式複写（印刷）

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
17	〔Schregle, J.書 簡 Shingo Kaite 宛〕	J. Schregle (Chief, Lab our Law an d Labour Re lations Bran ch, Social In stitutions D evelopment Depertmen t)	Shingo Kait e	昭和45年3月2 日	数量 1通 内容 the Joint Committee on the Public Serviceの第1回会合の準備の件 付属資料 日本語訳、1点 記述法 電子式複写（タイプ） 備考 手紙の裏にメモあり
18	〔記事切抜（「こ この人と 全通信労 組中央執行委員 長・宝樹文彦氏」 全9回『毎日新 聞』昭和45年3月 7-16日連載）			昭和45年3月7- 16日	数量 1括 記述法 印刷・電子式複写（印刷） 備考 電子式複写（印刷）による重複も含 む。
19	ILO合同公務員委 員会に関する情報	ILO理事・塩 路一郎		昭和45年	数量 3枚 記述法 電子式複写（印刷）
20	公務員インター会 報 1970年1号			昭和45年年1月	数量 1綴 記述法 電子式複写（印刷） 備考 D・クラウドからの送付状付
21	〔記事切抜（全通 労組宝樹文彦委員 長失脚の記事『毎 日新聞』昭和46 年2月20日）〕			昭和46年2月2 0日	数量 1点 記述法 印刷
22	ILO公務員合同委 員会対策について	〔安養寺俊親 （自治労書記 長）〕		昭和46年	数量 1綴 記述法 電子式複写（印刷）
23	〔抜刷（吉村励 「労働組合の戦線 統一に関する諸問 題」『経済学雑 誌』第64巻第6 号）〕	吉村励		昭和46年	数量 1冊 記述法 印刷 備考 表紙に著者から講評依頼記載
24	〔記事切抜（宝樹 文彦氏談話「ズバ リ'79春闘 6」 『毎日新聞』昭 和54年3月16 日）〕			昭和54年3月1 6日	数量 1点 記述法 印刷

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
25	提言一週休二日制 を具体的に実現す るために―	週休二日制を 考える会		昭和55年7月7 日	数量 1冊 記述法 印刷 備考 宝樹氏は「週休二日制を考える会」会 員
26	「1980年国際価 値会議」ご出席の お願い	佐藤滋（198 0年国際価値 会議会長）		昭和55年7月2 5日	数量 1通 内容 ワークショップ「人間の労働化―リカ レント教育を中心に―」への討議者としての 出席依頼 記述法 印刷
27	1980年国際価値 会議資料			〔昭和55年〕	数量 1冊 内容 日程案、会議構成 記述法 印刷
28	「1980年国際価 値会議」役員予定 者及び出席依頼者 リスト			〔昭和55年〕	数量 1綴 記述法 印刷
29	〔記事切抜（「第 一線幹部大いに語 る」上・中・下 『赤旗』 昭和55 年9月8日-10 日）〕			昭和55年年9月 8日-10日	数量 各1点 記述法 印刷 備考 宝樹氏への直接言及なし
30	赤旗 昭和55年9 月8日			昭和55年9月8 日	数量 1点 記述法 印刷 備考 宝樹氏への直接言及なし
31	〔新聞記事（社説 欄『朝日新聞』 昭和62年3月24 日）〕			昭和62年3月2 4日	数量 1点 記述法 印刷
32	日刊労働通信 昭 和62年5月15日			昭和62年5月1 5日	数量 1枚 内容 「『新生総評』の創設を―岩井私案・ 階級的戦闘的センターの骨格―」 記述法 印刷 備考 赤線あり
33	〔記事コピー（村 上寅十「私の青春 譜」『月刊総評』 第355号）〕			昭和62年6月2 6日	数量 2枚 記述法 電子式複写（印刷） 備考 宝樹文彦氏への言及あり
34	労働ニュース 第3 523号			昭和62年7月2 5日	数量 1点 内容 宝樹文彦「現状固定に安住するな」 記述法 印刷

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
35	労働ニュース 第3 523号			昭和62年7月2 5日	数量 2点 内容 宝樹文彦「現状固定に安住するな」 記述法 印刷
36	日刊労働通信 昭 和62年8月5日			昭和62年8月5 日	数量 1点 内容 統一労組懇年次総会の記事 記述法 印刷 備考 赤線あり
37	労戦統一（学習パ ンプ）	千葉県労働組 合連合協議会		昭和62年8月	数量 1点 内容 宝樹文彦「いま、むかし」、pp9-20 記述法 印刷
38	週刊労働ニュース 第1286号			昭和62年10月 26日	数量 1点 記述法 印刷
39	連合結成大会 付 属資料	全日本民間労 働組合連合会		昭和62年11月 20日	数量 1冊 記述法 印刷
40	〔記事コピー（社 説「社会党と労組 の新しい関係」 『朝日新聞』 昭 和63年2月9 日）〕			昭和63年2月9 日	数量 1点 記述法 電子式複写（印刷） 備考 記事に赤線
41	〔記事切抜（「視 点」欄『朝日新 聞』昭和63年2月 9日）〕			昭和63年2月9 日	数量 1点 記述法 印刷 備考 全民労協連合化反対 日教組」の書込 みあり
42	新労働通信			昭和63年1月1 6日、2月3日、 2月10日	数量 3枚 内容 「たいまつ」欄「絶対数でも減った労 働組合員」（第2087号）、中里忠仁「八八 春闘懇談会への期待と労研センターの提言」 （第2092号）、木畑公一「ケジメ」（第20 94号） 記述法 印刷
43	週刊労働ニュース 昭和63年9月21 日			昭和63年9月2 1日	数量 1点 内容 「転換点に立つ日本の労働—隅谷三喜 男前会長の講演から—」 用紙 印刷 備考 記事に赤線はあるものの、宝樹氏に関 する言及なし

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
44	〔記事コピー（宝樹文彦「労働運動と社会運動—共済制度を中心として—」『現代の理論』No.255）pp5-13〕	現代の理論社		昭和63年10月1日	数量 1点 用紙 電子式複写（印刷）
45	週刊労働ニュース 昭和63年1月1日	日本労働協会		昭和63年1月1日	数量 1点 内容 隅谷三喜男「転換期の労働運動」、初岡昌一郎「欧米労働運動の潮流」 用紙 印刷 備考 左2記事へ赤線あり
46	〔記事切抜（柄栄吉「新運動方針案づくり—お茶の水春夏秋冬—二八一」『総評新聞』昭和63年4月29日）〕			昭和63年4月29日	数量 1枚 記述法 印刷 備考 赤線あり
47	〔コピー（宝樹文彦「観光労働運動と公労委」『公共企業体等労働委員会の回顧』pp175-177）〕			昭和63年	数量 1点 用紙 電子式複写（印刷） 備考 元は国営企業労働委員会事務局編刊
48	〔コピー（宝樹文彦「総評と連合—労働戦線統一に想う—」『産業労働調査所五十年史』pp106-110）〕			昭和63年	数量 1点 記述法 電子式複写（印刷） 備考 元は産業労働調査所社史編纂委員会編、産業労働調査所刊
49	第十五期全通香川労働学校レジメ	宝樹文彦（講師）		平成元年2月18日	数量 2枚 内容 日本労働運動史 記述法 印刷
50	労戦統一シリーズ No.25			平成元年5月24日	数量 1綴 記述法 電子式複写（印刷） 備考 電話情報第772号
51	〔記事切抜（宝樹文彦「戦後労働運動の総括を」）〕			平成元年12月22日	数量 1点 記述法 印刷
52	平和 幸せ 道ひらく—「日本労働組合総連合会」結成までのあゆみ—	日本労働組合総連合会		平成1年	数量 1点 記述法 印刷 備考 労働戦線統一の文脈で、宝樹論文への言及あり

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
53	TOHO Information No.21	東邦生命保険 (相互) 営業 教育部情報企 画室		平成2年3月23 日	数量 1冊 内容 宝樹文彦「ノー原稿」 記述法 印刷
54	〔日本労働研究機 構研究所による宝 樹文彦ヒアリング のゲラ〕	日本労働研究 機構研究所		平成6年2月25 日	数量 1綴 記述法 電子式複写 (印刷)
55	〔日本労働研究機 構研究所による宝 樹文彦ヒアリング のゲラ〕	日本労働研究 機構研究所		平成6年6月28 日	数量 1綴 記述法 電子式複写 (印刷) 備考 送付状付
56	〔日本労働研究機 構研究所による宝 樹文彦ヒアリング のゲラ〕	日本労働研究 機構研究所		平成6年7月26 日	数量 1綴 記述法 電子式複写 (印刷) 備考 送付状付
57	労働界の英傑亀甲 康吉を語る—三年 忌追悼記念出版—	閨文社[刊]		平成8年	数量 1冊 内容 宝樹文彦「民族闘争としての沖縄労働 運動」、pp35-39 記述法 印刷 備考 自著部分に書込み
58	公務員インター (TUIPE)情報				数量 2枚 記述法 ペン 備考 全逓信労働組合野紙
59	〔全民労協発足時 の回顧〕	宝樹文彦			数量 12枚 記述法 鉛筆 備考 全逓信労働組合野紙
60	〔コピー (日本の 再軍備反対論と国 際自由労連) 〕	宝樹文彦			数量 同文2綴 記述法 電子式複写 (ペン) 備考 手書き原稿
61	〔ノート〕				数量 1冊 記述法 ペン
62	〔スクラップブッ ク (宝樹氏に関す る新聞記事) 〕				数量 1冊 記述法 印刷
63	〔記事コピー (対 談「1969年の労 働運動を語る」宝 樹文彦・藤田若 雄) 〕				数量 14枚 記述法 電子式複写 (印刷) 備考 『全逓新聞』または『全逓時報』らし い

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
64	〔記事コピー（宝樹文彦「労働戦線の統一と左派の動向」（『労政ジャーナル』）〕				数量 4枚 記述法 電子式複写（印刷）
65	〔コピー「四・一七ストを支持し、六五〇万労働者の先頭に立とう―池田内閣と独占資本の手先となった『日本共産党』を弾劾する―」〕				数量 1点 記述法 電子式複写（印刷）